

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市大崎むつみの里
(2)施設概要	<p>①所在地 緑区大崎37-1</p> <p>②施設の設置目的 障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、障害者及び障害児の福祉の増進を図る。</p> <p>③施設の概要 事業指定年月 【第1事業所】平成19年4月 【第2事業所】平成18年10月 敷地面積 5,272.00㎡ 延床面積 4,355.96㎡ 構 造 第1事業所:鉄筋コンクリート造 4階建 鉄筋コンクリート造 平屋建 第2事業所:鉄筋コンクリート造 平屋建</p> <p>事業内容 【第1事業所】生活介護事業(定員70人) 自立訓練(機能訓練)事業(定員10人) 自立訓練(生活訓練)事業(定員10人) 就労移行支援事業(定員15人) 就労継続支援事業B型(定員55人) 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援)</p> <p>【第2事業所】児童発達支援事業(定員30人) 保育所等訪問支援事業 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援)</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成30年度221,237千円、令和元年度212,425千円、令和2年度226,268千円</p>

<p>(5)施設の管理運営の内容</p>	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <p>&lt;生活介護事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数12,859人(前年度12,810人) ・平均利用者数52.9人(前年度52.7人)</li> <li>・稼働率75.6%(前年度75.3%)</li> </ul> <p>&lt;自立訓練(機能)事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数670人(前年度1,666人) ・平均利用者数2.8人(前年度6.9人)</li> <li>・稼働率27.6%(前年度68.8%)</li> </ul> <p>&lt;自立訓練(生活)事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数1,302人(前年度486人) ・平均利用者数5.4人(前年度2.0人)</li> <li>・稼働率53.6%(前年度20.0%)</li> </ul> <p>&lt;就労移行支援事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数164人(前年度249人) ・平均利用者数0.6人(前年度1.0人)</li> <li>・稼働率4.5%(前年度6.8%)</li> </ul> <p>&lt;就労継続支援事業B型&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数9,580人(前年度10,347人) ・平均利用者数39.4人(前年度42.4人)</li> <li>・稼働率71.7%(前年度77.1%)</li> </ul> <p>&lt;児童発達支援事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 5,005人(前年度5,358人) ・平均利用者数21.4人(前年度23.2人)</li> <li>・稼働率71.3%(前年度77.3%)</li> </ul> <p>&lt;保育所等訪問支援事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約者数 26人(前年度24人)</li> </ul> <p>&lt;相談支援事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約者数 304人(前年度296人)</li> </ul> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合防災訓練(年2回) ・むつみ祭 ・健康診断(就労事業のみ)等</li> </ul> <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物設備保守管理業務(日常管理業務、空調排気設備、消防設備点検、昇降機設備点検、その他の設備、防火対象物定期点検)</li> <li>・清掃業務(床・カーペット清掃、硝子清掃、害虫駆除、樹木消毒等)</li> <li>・自家用電気工作物保安管理業務(需要設備点検、発電設備点検、高圧盤清掃)</li> <li>・施設警備業務</li> <li>・浴槽水質検査業務(レジオネラ菌検査)</li> </ul>																																	
<p>(6)収支状況</p>	<p>①収入</p> <table border="0"> <tr> <td>・指定管理料</td> <td>226,268千円</td> <td>(前年度212,425千円)</td> </tr> <tr> <td>・障害福祉サービス等事業収入</td> <td>300,476千円</td> <td>(前年度295,219千円)</td> </tr> <tr> <td>・就労支援事業</td> <td>4,013千円</td> <td>(前年度 4,401千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>68,539千円</td> <td>(前年度 38,749千円)</td> </tr> </table> <p>②支出</p> <table border="0"> <tr> <td>・人件費</td> <td>410,170千円</td> <td>(前年度394,786千円)</td> </tr> <tr> <td>・事務費</td> <td>12,022千円</td> <td>(前年度 11,052千円)</td> </tr> <tr> <td>・施設管理費</td> <td>98,113千円</td> <td>(前年度 90,856千円)</td> </tr> <tr> <td>・事業費</td> <td>15,987千円</td> <td>(前年度 14,034千円)</td> </tr> <tr> <td>・繰入金支出</td> <td>34,241千円</td> <td>(前年度 29,250千円)</td> </tr> <tr> <td>・就労支援事業</td> <td>4,013千円</td> <td>(前年度 4,401千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>4,077千円</td> <td>(前年度 3,832千円)</td> </tr> </table>	・指定管理料	226,268千円	(前年度212,425千円)	・障害福祉サービス等事業収入	300,476千円	(前年度295,219千円)	・就労支援事業	4,013千円	(前年度 4,401千円)	・その他	68,539千円	(前年度 38,749千円)	・人件費	410,170千円	(前年度394,786千円)	・事務費	12,022千円	(前年度 11,052千円)	・施設管理費	98,113千円	(前年度 90,856千円)	・事業費	15,987千円	(前年度 14,034千円)	・繰入金支出	34,241千円	(前年度 29,250千円)	・就労支援事業	4,013千円	(前年度 4,401千円)	・その他	4,077千円	(前年度 3,832千円)
・指定管理料	226,268千円	(前年度212,425千円)																																
・障害福祉サービス等事業収入	300,476千円	(前年度295,219千円)																																
・就労支援事業	4,013千円	(前年度 4,401千円)																																
・その他	68,539千円	(前年度 38,749千円)																																
・人件費	410,170千円	(前年度394,786千円)																																
・事務費	12,022千円	(前年度 11,052千円)																																
・施設管理費	98,113千円	(前年度 90,856千円)																																
・事業費	15,987千円	(前年度 14,034千円)																																
・繰入金支出	34,241千円	(前年度 29,250千円)																																
・就労支援事業	4,013千円	(前年度 4,401千円)																																
・その他	4,077千円	(前年度 3,832千円)																																

<p>(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<p>生活介護事業：法人として、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要綱による投書箱の設置・福祉サービス利用者アンケートの実施等様々な要望を受け付ける機会を設けた。利用者アンケートは11月に実施。コロナ禍の中で施設で提供するサービスの質の向上及び利用者の満足度の充足を図った。結果については必要に応じて、配布や個別での回答を実施するとともに、掲示等で利用者に周知した。</p> <p>具体例として本人・家族の高齢化にともない多様化するニーズへの対応に対するご要望について、相談支援や関係機関等と連携を図り、利用者や家族の状況の変化に応じて一時的な付加サービスを提供し、利用を継続することで住み慣れた地域社会で生活が送れるよう支援した。</p> <p>自立訓練事業：施設送迎の希望が相談支援事業に寄せられていることを受け、機能訓練事業での送迎サービスを開始するため、アンケート調査を行い頻度や送迎範囲の検討を行った。</p> <p>就労移行・就労支援事業B型：利用者アンケートでラジカセが欲しいと要望が出され、設置したところ、朝のラジオ体操で使用したり、利用者には昼食後の休憩時間に音楽を鑑賞して楽しんでいただいている。</p> <p>第2事業所：トイレの着替えスペースが狭く、冷たいとのご意見に対し、マットを増やし、着脱しやすいよう努めた。先生の数が少なく感じる、聞きたい時に聞けないというご意見に対し、これまで以上に保護者の方とのコミュニケーションを大事にしていけるよう努めた。</p>
<p>(8) その他</p>	

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズに対応できる体制</li> <li>・利用者とのトラブルの未然防止についての苦情受付体制、適切な対応の図れる体制</li> </ul>	<p>むつみの里研修委員会の取り組みとして人権擁護・虐待防止事業に関する伝達研修を開催した。また、むつみの里各事業に設置した虐待防止委員会において、毎月1回虐待防止会議を行い職員の意識改善を行い、虐待防止に努めた。</p> <p>各事業所とも「利用者アンケート」や「苦情申出書」の意見集約のシステムを用いて、広く意見をいただきながら施設運営の反映に努めた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス向上のための具体的提案</li> </ul>	<p>共生社会の実現に向けて、実務者委員会では地域の方に向けて事業PRの一環として、広報誌を年1回発行した。また、地域の社会福祉協議会と連携し「花いっぱい交流事業」を開催し地域住民に対する施設の理解の促進に努めた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の教育・研修の実施など資質向上の提案</li> </ul>	<p>例年、研修計画を立て実施しているが、コロナ禍において外部研修を受ける機会が減った。そのため、積極的にオンラインに参加し、併せて伝達研修を実施することにより職員の資質向上に努めた。</p> <p>緊急事態宣言中に実習ができなかった大学側からの依頼で実習についての講義をオンラインで行い職員のスキルアップにつながった。</p>

### 3. 評価

#### (1) 指定管理者による評価

むつみの里では、コロナ禍であったため地域交流としての「むつみ祭」を実施することはできなかった。施設内で実施した「むつみ祭」の様子を掲載し、広報誌を地域住民、近隣大学、福祉施設等に配布し、むつみの里のPRIに努めるとともに、関係機関へも配布をすることにより広く知ってもらうことに努めた。また、地域共生事業として地区社協と連携し「花いっぱい交流事業」を開催することで施設の理解促進に努めた。

稼働率の向上に向けて令和2年度から「稼働率向上委員会」を設置した。改めて相談関係の職員から地域ニーズを収集し、各事業ごとに課題を抽出した。その結果送迎サービスの検討をおこなったり関係機関との連携を強化した。

人権擁護・虐待防止に関する研修を年1回実施するとともに、各事業の枠を超え事例検討会を行い、互いに指摘しあえる職員風土の醸成に努めた。なお、相談支援事業においては、他の福祉サービス事業所や医療機関・各区支援課等の関係機関と連携を密にとり、それぞれのニーズに沿った相談支援に努めた。

経費に関しては、生活介護事業における送迎車両の運転及び添乗業務について職員による業務実施を行うことにより経費の削減に努めた。併せて利用者へのきめ細やかなサービス提供や安心感に繋がるよう柔軟なサービス提供に努めた。

新型コロナウイルス感染予防対策として、職員研修を実施し最新情報を学んだり手洗い実習を実施した。また、施設内感染防止のため消毒・換気・飛沫感染予防を行った。衛生委員会をとおして産業医と情報共有を行った。

#### (2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局福祉部障害政策課)

##### 総合評価 (B) ※A~D

生活介護事業では利用者一人ひとりがその人らしい主体的な生活を送ることができるよう、障害特性を理解し、利用者の意向や利用者の意向や状況の変化に応じた支援を行った。

自立訓練においては利用者に支援や活動内容に関するアンケートを実施し、サービスの質の向上や支援内容の見直しを行った。利用者個々のニーズを把握し、多職種連携による職員会議やケース会議を行い、ニーズに対応した支援の検討を行った。

相談支援事業ではweb会議システムを活用し、相談支援に対する専門性を高めるために相談支援専門員間での事例検討や研修報告会を実施した。

施設の設備については定期点検や清掃業務を専門業者に依頼し、必要に応じて修繕を実施し、安全で清潔な施設の維持管理を行った。

以上のこと等より総合評価をBとした。

#### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。